

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	論理国語	2	選択履修	R6・3	全 HR
使用教科書	三省堂「精選 論理国語」(論国 703)				
副教材	共通テスト集中演習 実用的文章 (桐原書店) 進研[個別試験]対策 入試につながる現代文 (株式会社ラーズ) 大学入試国語対策 知識問題演習 (共通テスト・私大対応) 共通テスト+センター試験国語過去問題 (桐原書店) 総合版<総合版>R3~R6+試作問題+プレテスト (尚文出版) 共通テスト対策実力完成直前演習2025共通テスト国語 (株式会社ラーズ) 即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習 四訂版 (桐原書店)				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習方法

①これまで身に付けた知識や読解力を生かしながら、日々の授業を中心に主体的に学習に取り組む。 ②知見の異なる様々な文章を読むことで、多角的なものの見方や考え方を着実に身に付けていく。 ③本文の読解にとどまらず、自分の意見を持ち、そのことをわかりやすく他者に伝える。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
他者と関わる現実の社会において必要な国語の知識や技能について身に付けることができるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む 姿勢
1 学期	4 月	「動的平衡」	・ 論証したり学術的な基礎を学んだりするために必要な語句について理解を深めている。	・ 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、情報の妥当性を吟味しながら筆者の考えを把握している。	・ 進んで必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。
	5 月	「生命について考える」	・ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	・ 表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、自分の主張が明確に伝わるように工夫している。	・ 見通しを持って表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の考えを論述している。
	6 月	「流言とメディア」	・ 文や文章の効果的構成や展開の仕方について理解を深めている。	・ 文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	・ 様々な資料を調べ、関心を持って話し合ったりしている。
	7 月	「『欲望』と資本主義」	・ 本文の構成や展開、例示など論証の工夫について理解を深めている。	・ 社会的な話題について書かれた文章を読み、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・ 進んで筆者の考えを理解し、様々な観点から情報を収集しようとしている。
	7 月	「経済との関わりから社会的課題について考える」	・ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	・ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	・ 学習課題に沿って、関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめようとしていたりしている。

2 学 期	9 月	「リスク社会論」	<ul style="list-style-type: none"> ・対比、逆説、比喩などの表現技法に着目し、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の工夫とその効果について理解しながら、筆者の考えを分かりやすく説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味しようとしている。
	10 月 以 降	「リスク社会について考察する」 「総復習・問題演習「小論文演習」	<ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方について理解を深めている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の構造を吟味するなど文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の言葉でまとめている。 ・筆者の主張の筋道を捉え、文章の要旨を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで推論の仕方について理解を深め、自分の主張が明確になるよう工夫している。 ・進んで必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。
3 学 期	1 月 以 降	「総復習・問題演習「小論文演習」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張の筋道を捉え、文章の要旨を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで必要な語句の量を増やし、学習課題に沿って論理の展開を的確に捉えて要旨を把握しようとしている。

4. 教科担当者より

2年次に引き続き、「論理国語」では、実社会において必要となる、文章を論理的に書いたり批判的に読んだりする資質や能力の育成を目指していきます。したがって、日頃より、論理的な文章だけではなく、私たちの身の回りにある様々な実用的な文章（報道や広報の文章や報告書、企画書、法令文など）にも多く触れていくようにしてください。

特に、3年次には、次なるステージに向かうための入学試験が待っています。今年度から共通テストでも、新たに実用的文章を扱った問題が出題される予定です。日頃から、様々な文章や資料に触れ、そこからどのようなことがいえるのかを考える姿勢を持つようにしましょう。

複雑かつ大量の情報が飛び交う現代社会を生きる私たちにとって、それらの情報を論理的に整理し正しく理解したり、それらをもとに知見を広げ自らの考えについて筋道を立てて分かりやすく伝えたりする力は必要不可欠です。皆さんが「論理国語」の授業で培う力は、きっと社会を生き抜くための一助となるはずです。皆さんの学ぶ姿勢に、大いに期待します。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	文学国語	2	選択	R6・3	文系・33、34、35HR
使用教科書	三省堂『精選 文学国語』				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試国語対策 知識問題演習〈共通テスト・私大対応〉 ・共通テスト+センター試験国語過去問題 総合版〈総合版〉R3～R6+試作問題+プレテスト ・共通テスト対策実力完成直前演習 2025共通テスト 国語 ・即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習 四訂版 				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習方法

- ・初読の際には、登場人物、心情表現、情景描写に必ずチェックを入れながら読むこと。
- ・語句や漢字については辞書を引き、言葉に敏感になること。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	小説「鞆」(安部公房)	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について内容を解釈している。	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方について進んで理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について内容を解釈しようとしている。
	5 月	詩歌「永訣の朝」 (宮沢賢治)	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを進んで理解し、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。
	6 月	小説「檸檬」(梶井基次郎) 「舞姫」(森鷗外)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・作品に表現されているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察しようとしている。
	7 月	評論「陰翳礼讃」 (谷崎潤一郎)	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方について理解を深めている。	・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方について進んで理解を深め、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。
2 学期	9 月	総復習・問題演習	・既習の知識事項を活用しながら、様々な文章を読解している。	・作品の構成、展開、語り手、登場人物などを正確に捉えている。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。
	10 月				
	11 月				
	12 月				
3 学期	1 月	総復習・問題演習	・既習の知識事項を活用しながら、様々な文章を読解している。	・作品の構成、展開、語り手、登場人物などを正確に捉えている。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。
	2 月				

	3 月				
--	--------	--	--	--	--

5. 教科担当者より

二年次に引き続き、様々な文学作品を読むことを通して、登場人物の心情を読み取っていきます。語彙力を豊かにし、人間や社会、自然などに対するものの見方や考え方、感じ方を深め、読むことの楽しさを味わってください。二学期以降は進路実現を見据え、演習も多くなりますが、最後まで諦めることなく授業に臨んで欲しいと思います。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
国語	古典探究	3	選択	R6・3	全HR
使用教科書	桐原書店『探求 古典探究 古文編・漢文編』				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・進研[個別試験]対策 入試につながる古文 ・進研[個別試験]対策 入試につながる漢文 ・改訂版 古典速読トレーニング標準 ・大学入試国語対策 知識問題演習〈共通テスト・私大対応〉 ・共通テスト+センター試験国語過去問題 総合版〈総合版〉R3～R6+試作問題+プレテスト ・共通テスト対策実力完成直前演習 2025共通テスト 国語 ・即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習 四訂版 				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> ・古文、漢文ともに予習をした上で授業に臨むこと。 ・古文：古文単語や文法事項（用言・敬語・助動詞など）のチェックをすること。 読みながら文意を把握し、主語・述語・目的語等の把握に努めること。 ・漢文：書き下し文、句法や重要語をチェックし、主語を補いながら口語訳をすること。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

4-① 古文

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	随筆「枕草子」 (すさまじきもの) (二月つごもりご)	・重要古文単語や文法事項を捉えながら、書かれた出来事を正しく理解している。	・随筆という文章の種類についてよく理解し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の物事の捉え方や思想を多

5月	るに)				角的に考え、自分の考えを分かりやすくまとめたり周囲と意見を交換しようとしたりしている。
	歴史と伝説「大鏡」 (菅原道真の左遷) (道長の豪胆)	・本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を参照しながら理解している。	・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えている。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の物事の捉え方や思想を多角的に考え、自分の考えを分かりやすくまとめたり周囲と意見を交換しようとしたりしている。	
6月	物語「源氏物語」 (藤壺の里下がり) (紫上の死)	・敬語など、文語の決まりについて理解を深め、その知識を活用している。	・物語という文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えている。	・内容の理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物語の解釈について多角的に考え、自分の考えを分かりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	
7月	評論「源氏物語玉の小櫛」 (もののあはれ)	・先人の考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、理解を深めている。	・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえで的確に評価している。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。	
2学期	9月	総復習・問題演習	・既習の知識事項を活用しながら、様々な文章を読解している。	・作者の考え方を捉え、文章の構成や展開を正確に理解している。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。
	10月				
	11月				
	12月				
3学期	1月	総復習・問題演習	・既習の知識事項を活用しながら、様々な文章を読解している。	・作者の考え方を捉え、文章の構成や展開を正確に理解している。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。
	2月				
	3月				

4-② 漢文

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	逸話「孔明臥竜」	・逸話という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。	・逸話という文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えている。	・本文の内容を踏まえて劉備の思いについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。
	5 月	史伝「荊軻」	・史伝という文章の特徴について理解を深め、その知識を活用している。	・史伝という文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えている。	・「史記」について、様々な参考資料を積極的に参照しながら理解を深めようとしている。
	6 月	思想「老子」 (無用之用) 「荘子」 (胡蝶之夢)	・思想という文章の種類と特徴について理解を深め、その知識を活用している。	・思想という文章の種類についてよく理解し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	・思想の内容について、様々な参考資料などを積極的に参照しながら理解を深めようとしている。
	7 月	伝奇小説「人面桃花」	・伝奇小説という文章の種類と特徴について理解を深め、その知識を活用している。	・伝奇小説についてよく理解し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	・本文中で用いられている「また」と読む字についての知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。
2 学期	9 月	総復習・問題演習	・既習の知識事項を活用しながら、様々な文章を読解している。	・作者の考え方を捉え、文章の構成や展開を正確に理解している。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。
	10 月				
	11 月				
	12 月				
3 学期	1 月	総復習・問題演習	・既習の知識事項を活用しながら、様々な文章を読解している。	・作者の考え方を捉え、文章の構成や展開を正確に理解している。	・本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などをもとに、本文の解釈について多角的に捉え、分かりやすくまとめようとしている。
	2 月				
	3 月				

5. 教科担当者より

2年次までに身につけた古典に関する知識を活用して様々な文章を読み、演習を重ねていきます。受け身ではなく、自ら調べ、自ら考察する姿勢を大切にしてください。自分だけの力で古典が読めたときの喜びを、皆さんが味わうことのできるような授業をしたいと考えています。二学期以降は進路実現を見据え、演習も多くなりますが、最後まで諦めることなく授業に臨んで欲しいと思います。